

会 議 録

会議の名称	令和6年度所沢市総合教育会議
開催日時	令和6年8月20日（火） 午前11時00分から午前12時00分まで
開催場所	所沢市役所 高層棟7階 研修室
出席者の氏名	所沢市長 小野塚 勝俊 教育長 中島 秀行 教育長職務代理者 宮本 陽子 教育委員 寺本 彰 教育委員 森田 理恵 教育委員 北野 大
欠席者の氏名	なし
説明者の職・氏名	
議題	(1) 所沢市の教育に関する意見交換 (2) その他
会議資料	・ 令和6年度所沢市総合教育会議 次第 ・ 令和6年度所沢市総合教育会議 出席者名簿
担当部課名	経営企画部 : 市川部長 教育総務部 : 千葉部長、池田次長、鈴木教育総務課長 学校教育部 : 中田部長、櫻井次長、吉川参事 (事務局) 企画総務課 : 細淵課長、小川主幹、吉川主任 電話 04(2998)9046

発言者	内容審議の内容（審議経過・決定事項等）
開会	[議長である小野塚市長の進行により議事が進められた]
議長	<p>今回の総合教育会議は、教育委員の皆様在所沢市の教育について、その現状や想いを教えていただきたく、開催したものです。</p> <p>この会議は、市長と教育委員会の連携強化等を目的として、教育行政について協議・調整を図る場である。施策や方針をこの会議で決定する必要はないので、自由に忌憚のないご意見をいただきたい。</p>
事務局	<p>本年6月に新たに本市の教育委員に就任され、今回初めてご出席いただいている北野委員からご挨拶をお願いしたい。</p>
北野委員	<p>6月21日付で拝命した。秋草学園の理事長を昨年11月から、また短期大学の学長を7年半務めている。環境化学が専門で、これまで大学、大学院で専門的な教育や研究をしてきた。</p> <p>教育委員としては、小中学校について考えるということで、これから勉強しながら少しでも役に立てればと思っている。</p>
事務局	<p>新たに就任された教育委員もいるため、総合教育会議の概要を改めて説明させていただく。</p> <p>[総合教育会議についての説明]</p> <p>総合教育会議は、平成27年4月1日に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」により、全自治体に設置が義務付けられたもの。</p> <p>構成員は、地方公共団体の首長である市長と、教育長及び教育委員。</p> <p>この会議において、市長と教育委員会が教育に関する政策について協議・調整することにより、地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層市民の意見や考えを反映した教育行政の推進を図ることが目的である。</p>
議長	<p>議題（1）「所沢市の教育に関する意見交換」</p> <p>今回の会議の主旨は、普段、私がお会いしてお話を伺う機会を得ることが難しい教育委員の皆様は、所沢市の教育に対するお考えやご意見などを伺いたいというものです。</p> <p>教育委員という重要な職を担っているお立場から、所沢市の教育について課題として感じていることや、教育委員になる前と後で考え方や捉え方が変わった点、「今後こうしていけば所沢市の教育はより良くなるのでは」など、ご自身の想いやお考えを忌憚なくいただきたい。</p> <p>また、私や市の行政に対してのご要望やご意見などもあれば、遠慮なくお話しいただきたい。</p> <p>新たに教育委員に就任された北野教育委員は、市内の秋草学園短期大学の学長として教育に携わっているお立場から、所沢市の教育についてのイメージや、所沢市と学術機関がこれまで以上に連携して出来ると思われることに</p>

	<p>ついて、お話しいただければと思う。</p>
<p>宮本教育 長職務代 理者</p>	<p>私は保護者という立場で教育委員をさせていただいている。</p> <p>3人の子育てをしたが、子育てとは、子供を育てると思っていたが、実際は、自分が育つというか、子供に育ててもらったと感じている。</p> <p>子供たちは成人したが、ここに至るまで色々なことがあり、子供を通して社会や自分の経てきた道を見たりして、どうしたらこの子たちがより良くなっていくだろうか、子供たちの周りもどういうふうに育つかということを考えながら進めてきたような時間だった。</p> <p>教育という字には、教え育むという二つの字があるが、教えるというより、育むというのが大事。</p> <p>教育委員になるまではそこまでの認識だったが、教育委員になり、教育委員会でたくさんの事業の話、進行状況や現在の問題などを伺い、自分の知らなかったこと、子供を通して経験できなかったことがたくさんあることを再認識した。</p> <p>また、先生方が子供たちを中心に考え、どうしたら健やかに育っていくかを第一に考え、色々なことをしてくださっていると実感し、もっと色々な人にこれを知ってほしいと思う。</p> <p>コロナのときに学校に行けず、その後学校が始まり、登校する自分の子供たちやまわりの子供たちを見て、やはり学校は勉強を学ぶだけでなく、先生やお友達が変わらずいたり、みんなで笑顔を交わせる安心する場所なのだと、学校に行くだけで嬉しいという言葉聞いた。</p> <p>知識偏重ではなく、子供の成長にとって大切な場が学校だと思う。子供から大人になるまで、今現在も自分なりに勉強し、色々なことを学び、知識を得ることはとても楽しいと思うので、知ることを楽しむというのも、私が受けてきた教育の成果だと感じる。</p> <p>その上で、教育行政の近くにいる立場として思うことがいくつかある。</p> <p>まず、子供たちが安心して成長するために、学校環境の整備がとても大事だと思う。</p> <p>例えばお手洗いの洋式化は、「校舎の北側は出来たが、南側は何年か先だ」という話を聞くと、やはり皆「仕方ないですね」と言いながら、「卒業してしまうなあ」というような話も聞く。</p> <p>学校訪問に行くと、先生方が忙しく、産休など色々な事情で、現場をギリギリで回しているという話も聞く。どういふ方を入れれば一番いいかというのは教育委員会でアイデアがあると思うので、検討してほしい。</p> <p>子供たちは、元気な子供も、発達が心配な子供もいる。保育園や幼稚園でも、心配したり、声をかけてあげた方がよい子供もたくさんいる。そのような子たちも、将来自立して自分の人生を楽しく生きてほしいので、そのような面のサポート、事業についても手厚くしてほしい。</p> <p>所沢第2幼稚園に我が子が通っていたが、園児数が少ないため来年の3月</p>

	<p>末で閉園し、荒幡小学校の付帯施設として生まれ変わる。午前中は小さな子供や地域の方で活用していこうとしている。地域だけでなく、子供たちや子育てする親が集えるような場所になっていければ。</p> <p>最後に、中核市になると、保健所を設置しなければならない。その後は、教員の教育研修を通し、所沢市で主体的にやっていくと聞いている。その場合、研修をする建物が必要だろうし、たくさん人数が集まるため、体育の先生や小学校の先生はグラウンドが必要だと思う。そういった施設がないと、研修は難しいのではないか。また、それにあたる先生方を今の人数で出来るのか、検討してほしい。</p> <p>保健所を生涯学習推進センターの場所に作ると聞いているが、個人的には疑問である。あの並びは保育園、小学校、中学校、生涯学習推進センターがあり、生涯学習推進センターは高齢者もたくさん利用している。ミュージムもあり中心地ではあるが、子供たちが成長していく流れの中に保健所が入ることに疑問を感じている。</p>
寺本委員	<p>埼玉県の中核市がどこか調べた。近いところは川越だが、川越は松平さんの偉い土地で何か違う感じがした。イメージは越谷市。越谷と所沢は、人口も、市の発展度合いも、武蔵野線に駅があることも似ている。</p> <p>越谷は10年程前から中核市になっており、保健所を建てるのにも苦労した。所沢も保健所を建てるので、宮本委員からの発言もあったが、予算の点で辛い部分もある。しかし辛いところばかりやっていると、予算が減らされるというような話ばかりで、せっかく中核市になったのに、市民、市の職員もやる気が起きない気がする。あまりお金をかけず、越谷にはなくて所沢にはあるという、「埼玉でこれをやるなら所沢だ」というものを作った方がよい。</p> <p>退いた吉本委員も何度も言っていたが、陸上競技場を所沢に作ってほしい。市の予算ではなく、市内の勢いがある企業のジョイントベンチャーという形で、その陸上競技場を運営する会社のようなものを作り、市もそのジョイントベンチャーの一角に顔を出し発言権を持たせるのはどうか。</p> <p>埼玉県には陸上競技場はいくつかあるが、公式の世界記録や日本記録を発表できる陸上競技場は、熊谷と上尾の二つのみ。いずれも荒川の向こう側で、所沢から行くには不便。埼玉県西部で、割と東京からのアクセスも良い所沢に、全部の陸上の種目の公認規格を取れる競技場を誘致できないか。</p> <p>場所は、航空公園内の施設を他に移し、そこに建てるのが最も理想。</p> <p>もう一つは、カルチャーパーク。カルチャーパークの中には元々陸上競技場や体育館といった施設を作る予定があったはず。丘のスロープを上手く使えば、自然の観客席にもなる。</p> <p>もう一つは、現在使っていない日本大学。ジョイントベンチャー起業家と所沢市からの提案で貸してもらうか、または、土地は日大が持ち、施設は改修すれば、少なくともトラックとフィールドの二つを作れる。普通の競技場</p>

	<p>では、投てきの練習とトラックの練習は並行してできないが、日大なら別々のものを作れるのでは。</p> <p>もう一つは、米軍通信基地。北側の市民体育館の辺りならスペースがあり、アクセスもよい。ただ国との交渉が必要なので、難度が高い。</p> <p>パリオリンピックで優勝した北口選手たちが来て、陸上が好きなお子の子供たちが近くで見られる。そして選手たちが来ない日は、同じグラウンドで子供たちが陸上を練習できる。そういったことを、市はあまりお金をかけず、勢いのある企業に声をかけ、コーディネーターを一人雇ってほしい。</p> <p>市長の第一期任期中に、調査、コーディネート開始まで進めてほしい。</p>
森田委員	<p>今年度は学校訪問として、いくつか学校を回る機会を与えてもらい感謝する。</p> <p>そこで気づいたことは、世間でも不登校者の増加が課題になっているが、年度初めに行った学校では、学校によるとは思うが、不登校者が少し減ったという話も聞いた。そういう部分は良い方向だと思った。先生方の熱心な対応や、地域の方々の見守りなどの成果が出ているのではないかと。令和5年から段階的に導入しているコミュニティスクールも一つだと思う。家庭や地域の方々みなで連携して学校と信頼関係を作り、一体となって子供たちの教育ができるのはよい。</p> <p>一方課題は、教員不足や、施設の老朽化で学校環境の悪化が見られたところ。教員不足は、児童生徒の成績の低下にも繋がってしまうのでは。</p> <p>また、以前、所沢市はタブレットを完全に導入できておらず、他市は随分早くから導入しているという話を聞き、現在は所沢も導入できているが、活用できているかということ、学校により差を感じるころもあった。対応できる先生方の研修も必要だと思う。</p> <p>施設面では、体育館での授業を見たが、かなりの暑さの中での授業であった。体育館は災害時の避難所にもなる。少しでも早くエアコン設置など環境の整備をしてほしい。</p> <p>物価高騰もあるとは思うが、教育関係の予算が削られ工事が進まないなどが見受けられたので、やはり子供たちの成長には大切なので、教育関係の予算は、少しでも増額、安定した形であってほしい。</p>
北野委員	<p>秋草学園は現在、所沢市、所沢市社会福祉協議会、所沢警察署、所沢市商工会議所、そして今年は西武ライオンズと包括連携協定を結んでいる。具体的な内容は、市の主催する委員会や講演会等に、委員、委員長または講師として派遣する、またボランティアとして学生を派遣すること。</p> <p>秋草学園の特に短大は、保育士、幼稚園教諭養成の学校なので、所沢市立保育園の先生方の再教育などにも利用してもらえればと思う。</p> <p>教育委員の就任以来一番大きな仕事は、教科書選定への立ち会い。先生方は一生懸命真面目に取り組んでいると本当に感心し、極めてフェアな選定であった。</p>

	<p>可能であれば、数分でよいので出版社の方や著者の代表者を呼び、売りは何で、何を意図してこうしたのだということを聞く機会があるとよい。なぜなら、より良い教科書を作るために大事なものは、我々はこういう視点で選定していて、出版社の方はこういう視点で作っている、そのすり合わせ。単に採用する、落とす、ではなく、より良い教科書の内容に向け、教科書選定委員会を活用できればと思う。</p> <p>また、教育に関する私の一般論で申し上げる。日本の資源は何かというと、人間こそが資源、人的資源。人間を資源にするのは教育である。</p> <p>260年の鎖国を経て、開国しこれだけの大国になれたのは、江戸時代の寺子屋、教育。教育制度が、明治以降も続いて今日の日本を作っている。教育こそ、日本の基本だと思う。</p> <p>予算が大変なこと、どの事業も大事なことはわかるが、やはり教育が全て。家庭の経済的格差が、子供の受験の成績などに影響してくる。一番大切なのは、機会の均等。結果は仕方ないが、機会だけは均等、平等にしなければならない。例えば、補習塾を設けたり、家庭教師や塾に行けない家庭の子供には補習を行うなど、機会の均等をしなければならないのではないか。</p> <p>自助、公助、共助とあるが、これからは予算の関係もあり、公助は難しい。共助をどう進めるか。</p> <p>例えば、江戸川区では「すくすくスクール」がある。例として、地元のOBたちが放課後の子供たちの面倒を見、学校や施設は区が貸すなど、元気なお年寄りを活用し、経験を活かせると思う。</p> <p>それから、足立区では16の中学校が集まってスポーツ大会や文化祭をやっていた。勉強は大事だが、持って生まれた頭の良さもある。大事なことは、成績の良い子だけが良いのではなく、スポーツなど別の面でもヒーローを作って持ち上げていく、勉強ができない子はダメと全て否定するのではなく、それぞれの特色を上手く活かしていくべきである。</p> <p>予算の制限もあるだろうが、所沢市として教育に力を入れていくということで、全体でどういう方向を持っていくかは、各学校が地域の特色等を活かしながら、何に力を入れるかなど任せればよいと思う。</p> <p>私が図書館長をしていたみずほ台キャンパスの図書館は「拓本」を、千葉のキャンパスは社会福祉なので「貧困の本」等を集めるなど、キャンパスごとに特色があった。所沢市の小中学校も、「うちはこれに力を入れる」など、いい意味で競い合いながらやっていければ。私の近所の足立区立第十四中学校は、ブラスバンドで全国大会に出場している。教育委員会が、ブラスバンドに力を入れる指導者を必ず入れている。先生方とも相談をしながら特色を出し、いい意味の競争ができればと思っている。</p>
教育長	<p>昨日、45歳になる卒業生と話した。一人は足立区におり、所沢は随分変わったと言っていた。もう一人は中学校から宮本町にずっと住んでいる。所沢は越谷と同じくらいの大きさだが全然違う。まちとして特徴があり、緑も</p>

多く、航空公園や狭山湖もある。越谷には緑が多い場所はなく、所沢は落ち着くという話をした。川越のような歴史ではないが、所沢のブランド力は潜在的にある。

ミヤコタナゴを養殖しているが、なんとかしたい。例えば熊谷ではムサシトミヨが一つのブランドとなっている。売り方によっては売れる感じがする。秋田家住宅なども、どうやって見せるか、見せ方によっては新旧取り混ぜたまちづくりができるのでは。

近隣市に比べ中心地と郊外がはっきりしているのも良い点で、それをどう活かせるか。

東所沢も随分変わり、若者が増えてきた。コロンビアインターナショナルスクール、開智学園、秋草の専門学校、公立の小・中学校もある。文教地区のような作りができる気がして、所沢は潜在的な力をたくさん持っている。これが段々とまちづくりとしてトータルで整っていくとカッコいいまちになると思う。時間はかかるが、教育もそこにかめる気がしている。

先程、北野先生からも話があったが、私が教育長になり、最初に所信で言ったのは、格差を何とかなくしたい、中学校卒業のときにみんなを同じスタートラインに立たせてやりたいということ。開智学園もいい施設だが、公立も「開智すごいな」ではなく、負けないう、同じぐらいの教育ができるようにしたい。

先日学力テストの結果が出たが、さいたま市が政令市の中で一番。小学校は所沢市と10ポイントしか変わらない。しかし、中学校は、所沢が113ポイントで、さいたま市が140ポイント。所沢市は全国平均を超えているが、さいたま市はさらに上を行っている。公立だってできる。「さいたま市はいいな、開智学園はいいな」ではなく、「所沢市の学校は近隣市町でも指折りの、子供に力をつけさせる教育をしている」というところに持っていきたい。

具体的には、喫緊の課題として三つ挙げる。

一つは、特別支援教育の充実。知的レベルが高くても、情緒が不安定な子供もいる。そういった子たちも活躍できるように。特別支援教育室のような担当を作って専門にあたるようにしたい。

もう一つは施設の充実。娘が小学校の教員で、2年生を担当している。今年度、和式トイレを使用することになり、子供たちは使い方がわからないため、使い方を教えている。LEDへの変更や、太陽光パネル設置の話もあるが、財政的に厳しいのであれば、まずはトイレ改修を最優先とする必要があるのではないか。

体育館のエアコンについて。近年は気温が高すぎて、7月はプールが使えず、体育館は蒸し風呂という状態。体育館に空調があれば、体育の授業は体育館でできる。また、もし震災が起これば、体育館に避難民が集まってきたらという点。私は富士見市で、5分で市民が集まってきて、その蒸し風呂の中で過ごすという経験をした。施設の改修は絶対に進めなければならない。

	<p>三つ目は、課を横断的に編成した方がよい。教育委員会だけでなく、こども未来部とも連携をしていくべき。</p> <p>小学一年生が入学したとき、色々な質を持つ子供たちがいるが、この情報がきちんと入らず、トラブルが起こっている。これは幼稚園や保育園との連携を強めれば解決できる。</p> <p>また、学童が相当増えており、ニーズがある以上、学童を学校の中で運営していくしかない。学校の校舎を使えば、外部で借りている学童は、節約できる。多少の施設の改修は必要だが、学校で学童をやれる方法を、こども未来部と調整していく必要がある。</p> <p>貧困家庭やヤングケアラーの問題もある。夏休みに全く連絡が取れない子供がいる。児童生徒は2万4千人いるが、そのうち一人でも、居所不明、亡くなっていたというようなことがあれば、色々な教育をしていたとしても、その一人の事案で、全て水の泡になってしまう。福祉の部分でも、居所不明やゴミ屋敷となっている家などに手が入るようにしていかなければ。若干時間はかかるが、すぐに対応しなければいけない。</p> <p>この夏、算数教室「のびのび塾」をやった。小学3年生から6年生の希望者で、想定は200人だったが、400人が参加した。6会場で中学生、高校生、大学生のボランティアが200人。ボランティアの感想で、マイナスのものは200人中一人もいなかった。「教えることが楽しい」「先生になりたい」「先生になろうと思っていたので、気持ちが固まった」という感想もあり、人材育成になっている。教えてもらう側だけでなく、教える側にも非常にプラスの取り組みで、それほどお金もかかってないので、予算をかけずに成果が上がったという点では大変良い取り組みだった。</p> <p>また、星空フェスもたくさんの参加があった。市民プールも、今年は昨年より人を増やそうと。昨年9千人プラスになったが、今年はさらに2千人程増えそう。天候次第だが、目標の3万人を突破できそうな状況。これも160円を握りしめて、子供が遊びに来られる場所を提供するという意味では、所沢市のブランド、所沢市の良さをアピールする場になると思う。</p> <p>限られた予算の中でどうやって成果を上げられるか、そしてただ成果を上げるだけでなく、近隣の中でも「所沢市はちょっと違うな」と言われるように、取り組みを進めている。</p> <p>多くの市職員に、学校現場へ行って学校を見てほしいと言ったが、今年は少し横串で取り組みをしたい。教育委員会の職員は全部で200人いるが、各課が一緒になり、色々な課の担当者が集まって、一つになって色々なイベントを見ていくということもしていきたい。</p>
議長	<p>皆さまに様々なお考え・ご意見をお話いただき、皆さまの所沢市の教育に対する想いを十分に感じる事が出来た。</p> <p>本市の教育の課題については、課題の解決につながる取組を出来る限り検討してまいりたい。</p>

議長	<p>議題（２）「その他」</p> <p>事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>この会議は、来年度以降も年１回程度、定期的に開催させていただきたいと考えている。</p> <p>開催時期については、教育委員事務局と調整して決定する予定である。開催日が決定次第、ご連絡する。</p>
議長	<p>本日は貴重な意見をいただき感謝する。それでは進行を事務局に返す。</p>
事務局	<p>以上で令和６年度総合教育会議を終了する。</p>